

水産環境部（研究担当）

兵庫県水産技術センター

水産環境部では水産資源や漁場環境に関する調査研究に取り組んでいます。

水産資源の分野では、兵庫県瀬戸内海側の重要な漁業対象種の資源動向調査、漁況予測、資源管理手法の開発や漁場造成に関する研究に取り組んでいます。また、漁場環境の分野では水温、栄養塩等の定期的な観測や、赤潮プランクトン等に関する研究を進めています。



イカナゴ資源に関する研究

イカナゴの仔稚魚や親魚の生息状況等の調査により資源動向を把握するとともに、漁況予報等の情報を提供しています。



シラス（イワシ類の稚魚）に関する研究

イワシ類（主にカタクチイワシ）の卵・稚仔の分布状況等を調べ、情報提供と漁況予測をしています。



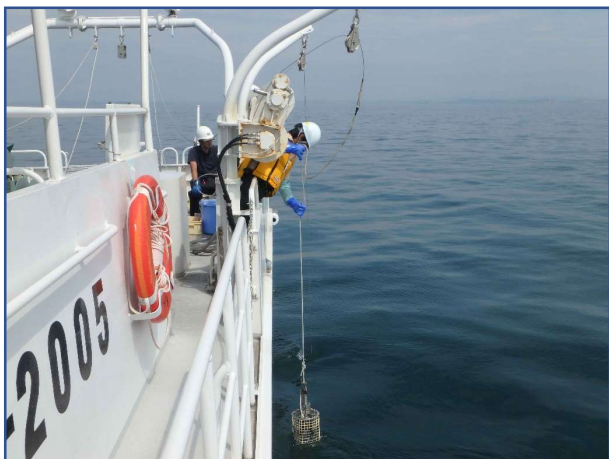
有用水産資源の動向に関する研究

有用な漁業対象種の標本魚測定や市場調査、試験操作を進め、水産資源の動向や生態解明に関する研究に取り組んでいます。



漁場造成に関する研究

増殖場や底質改善等のために造成した漁場の特性及び生物の生息状況を調査して、適切な漁場環境を再生、創出するための研究を進めています。



水温、栄養塩等の漁場環境に関する研究

瀬戸内海では近年、貧栄養化や水温の上昇に伴う、漁船漁業や養殖業への影響が懸念されています。定期的に漁場環境を調べて、情報提供しています。



赤潮プランクトンの研究

珪藻類や有害赤潮プランクトン等の発生状況を把握するとともに、被害防止のための発生予察研究等に取り組んでいます。